

アメリカ滞在記 ④  
ニューイングランド・東部カナダ  
霧野萬地郎

▼休日をとって、東海岸を北上し、ニューイングランド地方を巡った。アメリカ史に早くから登場する6州でその中心はボストンだ。ニューイングランド地方は欧州からの初期の入植者たちと、原住民のインディアンとの接触があり、植民地を経て、独立へと移るアメリカ合衆国の歴史のエキスがぎっしりと詰まった地域なのだ。

95号線を使いボストンを越えて、先ず、東海岸最北のメイン州はアケイディア国立公園を訪ねた。海と湖と山が入り組んだ自然豊かで、辺鄙な漁村が多くメイン・ロブスターの漁が盛んだ。漁に使う罎の籠を積み上げた漁師の店で、茹で上げたたロブスターを溶かしたバターに浸し素朴な味を楽しめた。

下ってボストン市街は曲り道が多い。そんな道を抜けながら、美術館やハーバード大学を訪ねた。ボストン美術館は多くの東洋美術を所蔵し、岡倉天心に因んだ和風庭園もある。

ボストン茶会事件をきっかけに、米国は1776年に英領の植民地から独立を勝ち得た。本国からの茶葉に不当な高関税をこの植民地に課した事が原因だ。今の米国は珈琲が主流だが、当時は中国から英国経由で運ばれた茶葉でティーを嗜むのが一般的だった。ボストンからケープコッド半島の突端にまで車を走らせて、白砂の美しくも広大な海岸線を楽しんだ。

途中のプリマスの訪問も良かった。17世紀に清教徒の一団がイギリスからメイフラワー号に乗船し、新大陸のここへ入植した。復元した当時の村やメイフラワー号などを見学した。最初の収穫を先住民と祝った感謝祭、その起源にもなる友好的な交流もあったが、やがてペストを持ち込まれて、先住民の9割以上が病死したと云う。北米に於ける欧州列強の植民地はアジア



プリマスのメイフラワー号

や南米などに比べ、先住民の人口が少ない為に、彼らからの襲撃が少なかった。一方、欧州の既成社会を逃れて来た移民者は増大し、少数の先住民は滅びるか、そうでなければ、居留地に封じ込められた。

### 聖五月丸木の小屋に木のクロス

▼日本から来た両親が合流し、7人一緒に車でカナダへ旅をした。先ずNY州都オーバニール経由でナイヤガラ滝を訪ねる。12時間のドライブとなるが、見逃せない最もピュラーな観光地だ。カナダとの国境を挟んでエリー湖からオンタリオ湖へ流れるナイヤガラ河にある。滝の落差は60m以下だが、滝幅は広く、観光船が貸カッパの客たちを滝の落下点まで運んでくれる。夜はライトアップした滝を正面に眺め夕食を楽しんだ。

### 濡れてなお瀑布を空に見上げたり

翌朝はカナダ側を走り、基地の街、キングストンに入る。この日はカナダ建国記念日で、

カナダの国旗が街のあちらこちらに見える。英領北アメリカ法により、カナダが自治を開始した1867年7月1日を記念しての祝日だ。

キングストンはアメリカ独立戦争の際にイギリス側に忠誠を表明した難民を受け入れる地として、18世紀末まで町は大いに成長した。184



キングストンの建国記念式

1年から3年間はカナダの首都だったが、敵国アメリカに近い為に、オタワに移った。キングストンの基地（かつての砦）内ではこの日を記念して、当時を偲ぶ儀仗兵や鼓笛隊などの演技があり多くの観光客を集めていた。基地を出て観光船で、オンタリオ湖からセントローレンス河のサザン・アイランド（千の島）を巡った。広い川幅の中に点在する島々に個々の別荘を建てて、豊かな避暑を楽しんでいる、なんとも贅沢な世界があった。

## 祝砲の轟く砦カナダの日

### 避暑地成す大河の中の千の島

車は3時間ほど北東へ走りカナダの首都オタワへ向い、ここで一泊した。

翌朝はオタワ市内を走り、1916年の大火から残った貴重な国会議事堂や国会図書館など街の中心部を観光する。歴史は浅いが清潔な道路と街並で、懸命に豊かな国造りに勤しむ若いカナダに好感を持った。

更に東へ向かい、この日はケベック州モントリオールまで進んだ。ひとわり街を車で見物して、夕食は北米一の広さを誇る中華街へ足を運んだ。そして、翌日はひたすら車を運転して一気にNJの自宅へ戻った。

▼この旅とは別にモントリオールを経由して州都ケベック・シティーまでドライブをした事もあった。これも夏だったが、秋のメープル街道とは違う明るい夏の趣があった。ケベックの旧市街は世界歴史遺産として登録されている。仏語圏の薫り高い美食の町、石造りの住宅街、街中にある数多くの教会、石

畳のフランス調の旧市街の街並みなどから「北米のパリ」とも云われる。この街も公用語はフランス語で、会話には難儀したが、古くも美しい人情ある町だった。

18世紀以降の英仏植民地戦争から、アメリカ独立戦争、仏領から英領へ、そしてカナダ独立へなど、ケベック州の歴史的立ち位置は複雑且つ微妙だった。

### 晩涼や馬蹄リズムの石畳

▼米国とカナダの車は登録された州のプレートを付けるが、州それぞれに特徴があり、異なるデザインで、州のニックネームも記されている。遥か遠方の州からの車に驚き、また、出会う車の州を当てっこしながら長時間の運転の気を紛らわした。NY州はエンパイヤステイト（帝国州）、NJ州はガーデンステイト（庭園州）等々。カナダの州は英語表記だが、フランス語圏のケベック州はフランス語で（私は忘れない）と記載されている。フレンチ・カナディ안의気持ちと意志らしい。

続く